

名古屋市科学館と木製玩具製作

背景

幼児教育が注目されている近年、一つの重要なキーワードとして「知育玩具」が挙げられています。知育玩具を取り入れる家庭も増えている現状から、我が子にも知育玩具をと検討されています。



知育玩具にはさまざまな種類があり、知育玩具を活用することによって、子どもの多様な能力を引き出すことができます。
素材にこだわったものが多く、特に多いのが「木製玩具」であり、素材ならではの柔らかい質感や手触り、香りなどを感じることが出来ます。
自然の素材は、子どもの五感を刺激し、非認知能力の向上につながり、人肌に近い温かみのある素材は、赤ちゃん・子どもに安心感があり、それと同時に、自然環境への関心や親しみを覚えることもでき、子どもの豊かな心も育んでくれる。

実施内容

「 新世代けん玉 」 安原心花



輪投げとけん玉が混ざったようなおもちゃを製作しました。

ドーナツを向かい側の棒部分に入れて遊ぶことができます。また取り外しができるため、1つから挑戦することも可能で、最大3つ同時に遊べるため難易度が上がっていき集中して遊ぶことができます。

「 はめ込み型パズル 」 山室妃奈

モンテッソーリ教育法をもとに、自ら考えながら視覚や指先を使い遊ぶことができる知育玩具を制作しました。遊ぶときにパーツを棒にさしたり、側面にある型に入れたり、様々な遊びができます。パーツを組み合わせるパターンはいくつあるでしょうか？ 皆さんも体験してみてください。



「 ジャンピングボール 」 武居花菜乃



私は、ボールをわっかに入れる。バスケットボールのおもちゃを作成しました。小さい子供の力でもボールを飛ばせるように、てこの原理を利用して作製しており、大人も一緒になって楽しめるおもちゃです。

また、ゴールとの距離を変えることができ、自分に合った難易度で遊ぶことができます。

「 スライドパズル 」 内山紗那

私は数字やアルファベット、果物や色をスライドさせ並べるおもちゃを作りました。どうやったら順番通りに並べられるか頭を使いながら考え楽しく遊ぶことができます。また、遊び方がいくつかあり難易度も違うので大人でも楽しめると思います。



「 ねこの車おもちゃ 」 大道乃愛



私はねこの形をした車のおもちゃを製作しました。尻尾には半円のパーツと布を使いクネクネ動くものを作りました。触っていくうちに癖になる感覚です。

顔の部分も首が動くようにダボで取り付けてあります。

効果・評価



6/14 連携活動をしていただいている、名古屋市科学館学芸員にプレゼンを行う。
アドバイスや改善点をもらい制作。
・おしゃれな名前を考える・耐久性や安全性
・おもしろい案がたくさんある・楽しみにしている

1/17 完成された玩具を見ていただきました。
よい評価をいただきました。

2/27 名古屋市科学館にて、贈呈式を行います。

今後の展望

私たちは遊ぶ子供たちをイメージしながら、それぞれテーマを決め製作活動に励んだ。また、私たちの製作した玩具を子供たちが使ったとき、子供の発達・発育にどんな影響を与えるかなどの様々なことをいろいろな角度から考え製作活動をしていく。指先の感覚を使いながら記憶力や頭の中でイメージするなど発育に適した玩具を作ることができました。この作品が多くの子供たちに喜んで遊んでもらえるよう続けていく。また、作品を作っていておもしろかったと思える活動となるよう今後も継続してほしい。